

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年4月30日

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C
横断的な課題	収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
地域重点政策	北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
実施機関	北信地域振興局			担当課	所属
事業名	北信州おいしい食材フェア2025			電話	農業農村支援センター
				E-mail	0269-23-0209
					<a href="mailto:hokushin-nosei@pref.nagano.lg.jp">hokushin-nosei@pref.nagano.lg.jp</a>
事業概要	目的 (目指す姿)	北信地域の特産物である”アスパラガス”、”伝統野菜”、”きのこ”などを地元の飲食店で食してもらったり、子どもたちへの食育活動を通じてPRし、これらの認知度を上げ、需要を高めることで生産量増加を目指す。			
	現状と課題	管内は“きのこ”、“アスパラガス”等様々な農産物の産地である。昨年度実施した「北信州おいしい食材フェア2024」をはじめ、これまでのPRである程度の認知度は向上したが、まだ生産量に対して知名度が追い付いていない。 そのため、引き続き食材の認知度の向上および消費促進を図る必要がある。 食材フェアについては、毎年スタンプラリーへの参加者は増加しているが、認知度はまだ低く、参加店舗数にも地域間で偏りがある。			
	内容 (変更後の内容)	<p>【デジタルスタンプラリー】 北信地域の特産物を使った料理を提供する飲食店と連携したスタンプラリーを実施し、食材の認知度向上と消費拡大を図る</p> <p>【概要】 日時：5月2日（金）から1月18日（日） 場所：管内全域で対象食材を使った料理を提供する飲食店 内容：フェア参加飲食店で料理を食べることでスタンプを獲得できるスタンプラリーを開催する。 スタンプラリー期間終了後も通年でHP掲載を継続し効果を高めていくため、デザイン等の改修を実施する。</p> <p>【きのこを使った食育イベント】 北信地域の特産物であるきのこについてこどもの頃から知ってもらい地元の食材に対する関心を高める。 日時、場所： ・7月10日 中野市南部学校給食センター ・9月3日、5日 中野市北部学校給食センター ・11月6日 中野市北部学校給食センター ・12月16日 野沢温泉小学校 内容：給食関係の栄養士等と連携し、普段子どもたちの食べている給食について知識を深めてもらうとともに、地元の食材が給食にたくさん使われていることをきのこの収穫体験等体験型のイベントから知ってもらう。</p>			
	事業期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月			
事業費	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	北信州おいしい食材フェア2025	・デジタルスタンプラリーの開催 ・きのこを使った食育イベントの開催	1,151,477	チラシ、ポスター印刷 99,880 ラミネートフィルム、コピー用紙等 75,374 スタンプラリー景品 115,320 ガソリン代 17,811 宅配料、切手代等 45,740 デジタルスタンプラリー運営業務等委託 778,932 コピー代 11,805 食育講座資材費 6,615	
	合計		1,151,477		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	地域食材を提供する飲食店利用数の拡大(スタンプ数で評価)(R6:504個)		520個	1383	● 達成
	参加飲食店舗の拡大(R6:29店舗)		50店舗	51	○ 一部達成
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加店舗数は目標の51店舗まで拡大するとともに、全市町村において複数店舗登録することができた。中野市 25(16)、飯山市 14(8)、山ノ内町 3(0)、木島平村 3(2)、野沢温泉村 4(3)、栄村 2(0) ※( )内はR6年実績</li> <li>北信地域振興局ブログやSNSを活用し、全参加店舗について、地域食材を活用したメニュー紹介等の情報を発信した。</li> <li>スタンプ数も昨年度から2倍以上に増加し、10月と3月にそれぞれ抽選を行い、計40名の方に、6市町村の特産品を発送した。</li> <li>きのこをテーマにした食育講座を延べ5回実施し、小学生たちの認知度が向上した。</li> </ul>				
	今後の方向性	引き続き農産物とともに、生産に大きな役割を果たしている農業資産とも連動し、北信地域の農に係る認知度向上を図り、消費拡大を促進する。			